

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

新潟市立白山小学校（新潟県）

【取組内容①】 子ども主体の授業を目指す～クラウドを活用した学習状況共有による授業改善～

1	名前	プレゼントする相手	今日の課題	詩の分析方法	詩の整理・分析シート(リンク)	プレゼントしたい理由 (この詩は●●。だから、～な△△さんに伝え
3	1	友達	贈り物を作る(表現)	Yチャート	1GJmhZLxJTOkdVyMbx5Tmn	この詩は優しい詩だから、仲が良くくて本当は優しい。
4	2	家族	贈り物を作る(表現)	フィッシュボーンチ...	1VwmJl13fekoCHDFWmLuzj	この詩は、おじいちゃんの名前が書いてあってお喜ぶかなと思ったから
5	3	友達	詩を分類する(整理・分...)	ピラミッドチャート	1YUcjqVYqW-s7wQC8s_EPP	この詩が一番〇〇さんに合うと思ったから
7	4	友達	贈り物を作る(表現)	フィッシュボーンチ...	1JWqMoexE33d6YT7OEBvfa	いつも一緒に遊んでくれるから
8	5	友達	詩を集める(情報修収集)	Yチャート	11TUaNMtgNjHVSQYAmW1x	いつも面白いし楽しい人だから

5年生国語「生活の中で詩を楽しもう」では、多くの詩と親しみ、お気に入りの詩をプレゼントする学習を行った。単元の中で、「詩をプレゼントする相手」や「集めた詩の分析方法」「プレゼントする際の表現方法」を自己決定させた。

その際、個人の進捗状況を1枚のスプレッドシートにまとめ、学級内で共有した。児童は、同じ課題を選択した人と集まって相談したり、友達が分析したJAMボードをリンクから参照したりしながら、自分のペースで学習を進めていった。